

	中止2日後		中止 3日後	中止 5日後	中止 7日後	中止 10日後	中止12日後 (敗血症回復)	中止 14日後	中止30日後 (好中球回復)
収縮期血圧 (mmHg)	—	—	—	—	—	—	125	—	—
拡張期血圧 (mmHg)	—	—	—	—	—	—	79	—	—
心拍数 (回/min)	—	—	—	—	—	—	55	—	—
体温 (度)	—	—	—	—	—	—	36.7	—	—
赤血球数 ($10^4/mm^3$)	353	—	386	371	361	331	336	354	399
網赤血球数 ($10^4/mm^3$)	1.8	—	—	—	—	—	—	—	—
網赤血球数 (%)	5	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘマトクリット 値 (%)	32.9	—	35.5	33.7	33.1	30.6	31.5	32.8	37.8
ヘモグロビン量 (g/dL)	10.9	—	11.9	11.4	11.1	10.4	10.5	11.1	12.7
白血球数 (/mm ³)	6,400	3,900	—	2,400	3,000	2,100	2,000	2,300	3,500
好中球 (%)	92.3	—	—	—	36.0	—	41.8	57.0	54.7
血小板数 ($10^4/mm^3$)	6.3	—	7.7	9.4	12.0	14.8	15.4	15.8	12.3
尿酸 (mg/dL)	2.3	—	2.0	1.9	2.4	4.6	4.4	5.0	4.3
CRP (mg/dL)	5.69	2.05	2.05	0.40	0.16	0.07	0.05	0.03	0.01
糸球体濾過値 (mL/min)	77.1	—	84.9	117.9	103.6	98.8	106.2	101.2	101.2
プロカルシトニン (%)	16.78	7.82	7.82	2.04	0.57	0.04	<0.02	—	—
PT (%) /PT (比) /PT-INR	83/1.08 /1.09	—	99/0.98 /0.98	101/0.97 /0.97	104/0.98 /0.98	—	—	—	—
APTT (sec)	34.7	—	32.9	30.1	28.5	—	—	—	—
アンチトロンビン Ⅲ (%)	70.1	—	—	—	—	—	—	—	—
フィブリン分解 産物 ($\mu g/mL$)	8.4	—	2.6	2.2	2.7	—	—	—	—
Dダイマー ($\mu g/mL$)	3.6	—	1.1	1.1	1.2	—	—	—	—

臨床検査値②

	中止 2日後	中止 3日後	中止 5日後	中止 7日後	中止 10日後	中止12日後 (敗血症回復)	中止 14日後	中止30日後 (好中球回復)
ヘパラスチンテスト (%)	69	—	—	—	—	—	—	0.3
総蛋白 (g/dL)	5.6	6.6	6.3	7.0	6.4	6.3	6.2	7.0
アルブミン (g/dL)	3.2	3.6	3.9	3.9	3.7	3.6	3.6	4.2
A/G比	1.3	1.2	1.3	1.3	1.4	1.3	1.4	1.5
総ビリルビン (mg/dL)	0.7	0.8	0.7	0.6	0.5	0.6	0.5	0.5
AST (GOT) (IU/L)	70	49	27	26	17	15	15	19
ALT (GPT) (IU/L)	47	41	30	35	17	13	13	13
LDH (IU/L)	222	222	185	172	148	141	132	175
ALP (IU/L)	183	186	197	220	211	210	211	256
γ-GTP (IU/L)	33	36	49	54	34	30	27	20
LAP (IU/L)	55	—	—	63	—	52	49	51
コリンエステラーゼ (IU/L)	278	296	294	294	254	249	249	259
CK (CPK) (IU/L)	998	452	80	28	20	20	27	50
CK-MB (IU/L)	9.8	—	—	—	—	—	—	—
アミラーゼ (IU/L)	118	123	103	118	100	105	123	103
リパーゼ (IU/L)	34.8	—	—	27.5	—	17.8	—	—
アンモニア窒素 (μ g/dL)	54	—	—	—	—	—	—	—
総胆汁酸 (nmol/mL)	7.0	—	—	—	—	—	—	—
BNP (pg/mL)	52.8	—	—	11.2	—	—	—	—
エンドトキシン (pg/mL)	<1.9	—	—	—	—	—	—	—
乳酸 (mg/mL)	9.3	—	—	—	—	—	—	—
膵アミラーゼ (IU/L)	—	94	77	—	67	—	—	—
尿中尿素窒素 (mg/dL)	8	6	6	8	11	12	13	17
血糖 (血清) (mg/dL)	127	156	125	97	119	89	88	96

併用薬：リバビリン（併用被疑薬），ペグインターフェロン アルファ-2b（併用被疑薬），クロピドグレル硫酸塩，アムロジピンベシル酸塩，カンデサルタン シレキセチル，アスピリン，イフェンプロジル酒石酸塩，オメプラゾール，プロチゾラム，アロプリノール

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	女 60代	C型慢性肝炎 におけるウイルス血症の改善 (糖尿病) (高血圧)	1,500mg 77日間	急性腎盂腎炎による敗血症疑い	
				インターフェロンの前治療歴あり。	
				投与開始日	本剤 (1,500mg/日), リバビリン (400mg/日), ペグインターフェロン アルファ-2b (1.5µg/kg/週) 投与開始 (3剤併用療法)。
				投与11日目	皮疹発現。 【重症度】グレード1:体表面積の50%以下(限局性) 【そう痒感】有 腹部に皮疹出現。ベポタスチンベシル酸塩 (2T/日, ~投与77日目) 経口, ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル軟膏 (適量/日, ~投与77日目) 外用投与にて対応。
				投与22日目	ヘモグロビン (9.7g/dL) 減少発現。リバビリン (300mg/日) 投与変更。
				投与66日目	リバビリン (200mg/日) 投与変更。
				投与71日目	受診時は著変なし。ペグインターフェロン アルファ-2b投与。
				投与72日目	38℃発熱, 下痢。
				投与77日目 (投与中止日)	急性腎盂腎炎による敗血症疑発現。 夜間に救急車にて来院。39℃, 意識もうろう, 脱水状態 (舌乾燥)。 ただちに輸液, 抗生剤, ガベキサートメシル酸塩開始。血液培養 E. coli。 本剤, リバビリン投与中止。
				中止1日後	予定のペグインターフェロン アルファ-2b中止。
				中止16日後	輸液, 抗生剤, ガベキサートメシル酸塩により軽快。急性腎盂腎炎は回復。
				中止99日後	ヘモグロビン減少回復 (12.6g/dL)。
中止162日後	急性腎盂腎炎による敗血症疑回復。				
中止178日後	皮疹回復。				

臨床検査値

	投与前日	投与4日目	投与6日目	投与8日目	投与11日目	投与18日目	投与22日目	投与29日目	投与36日目	投与43日目	投与50日目
赤血球数 (10 ⁴ /mm ³)	—	—	403	388	399	390	367	349	345	351	336
ヘモグロビン量 (g/dL)	12.9	—	12.4	12.0	12.3	12.1	11.4	10.9	10.7	11.0	10.5
ヘマトクリット値 (%)	—	—	36.7	35.0	36.1	34.7	33.5	31.9	31.6	32.2	29.9
白血球数 (/mm ³)	3,500	—	3,200	2,700	2,900	3,800	3,200	3,000	3,100	2,800	4,400
好中球 (%)	54.5	—	50.2	44.7	44.7	56.6	52.3	51.2	52.8	53.5	64.8
好中球数 (/mm ³)	1,900	—	1,580	1,210	1,290	2,130	1,650	1,510	1,610	1,510	2,830
BUN (mg/dL)	15	15	17	17	13	20	15	16	17	—	—
血清クレアチニン (mg/dL)	0.5	0.7	0.7	0.7	0.6	0.7	0.7	0.6	0.6	—	—
尿酸 (mg/dL)	3.7	7.4	—	6.8	6.8	8.8	7.1	6.7	60	—	—
Na (mEq/L)	—	—	—	—	—	—	—	137.6	—	—	—
K (mEq/L)	—	—	—	—	—	—	—	3.4	—	—	—
Cl (mEq/L)	—	—	—	—	—	—	—	99	—	—	—
Ca (mg/dL)	—	—	—	—	—	—	—	9.0	—	—	—

	投与 57日目	投与 64日目 (Hb 低下発 現日)	投与 71日目	投与 77日目 (投与中止 日) (敗血症凝 発現日)	中止 1日後	中止 8日後	中止 36日後	中止 71日後	中止 99日後 (Hb回 復日)	中止 162日後 (敗血症 凝回復 日)
赤血球数 ($10^4/mm^3$)	347	308	298	302	283	—	—	—	—	—
ヘモグロビン 量 (g/dL)	11.0	9.7	9.5	9.6	8.9	9.4	—	—	12.6	—
ヘマトクリッ ト値 (%)	31.2	28.1	28.4	28.3	26.7	—	—	—	—	—
白血球数 ($/mm^3$)	6,700	2,900	4,000	22,700	20,200	6,500	6,500	5,000	—	4,800
好中球 (%)	82.3	64.2	65.6	95.8	95.4	54.4	54.4	56	—	—
好中球数 ($/mm^3$)	5,500	1,880	2,620	21,690	19,240	3,550	3,550	2,780	—	—
PT	—	—	—	13.0	14.7	—	—	—	—	—
PT (%)	—	—	—	75.0	61.9	—	—	—	—	—
PT-INR	—	—	—	1.16	1.31	—	—	—	—	—
フィブリノー ゲン (mg/dL)	—	—	—	—	494	—	—	—	—	—
フィブリン分 解産物 (μg /dL)	—	—	—	—	11.4	—	—	—	—	—
BUN (mg/dL)	16	14	12	72	82	45	—	—	—	—
血清クレアチ ニン (mg/dL)	0.9	0.7	0.7	3.9	4.5	0.9	0.9	1	—	—
CRP (mg/dL)	—	—	—	26.46	26.70	—	—	—	—	—
尿酸 (mg/dL)	6.9	5.7	5.1	13.3	14.5	5.9	5.9	5.9	—	—
Na (mEq/L)	133.7	—	—	137.1	140.8	—	—	—	—	—
K (mEq/L)	3.9	—	—	3.4	1.8	—	—	—	—	—
Cl (mEq/L)	102	—	—	98	101	—	—	—	—	—
Ca (mg/dL)	9.9	—	—	8.2	7.8	—	—	—	—	—

併用薬：リバピリン（併用被疑薬），ペグインターフェロン アルファ-2b（併用被疑薬），グリメピリド，アムロジ
ピンベシル酸塩，ロキソプロフェンナトリウム水和物

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
3	男 50代	C型慢性肝炎 におけるウイルス血症の改善 (高尿酸血症) (不眠症)	2,250mg 27日間 ↓ 1,500mg 16日間	間質性肺炎	
				投与開始日	本剤 (2,250mg/日) , ペグインターフェロン アルファ-2b (1.5µg/kg/週) , リバビリン (800mg/日) 投与開始 (3剤併用療法)。
				投与28日目	本剤 (1,500mg/日) 投与変更。
				投与43日目 (投与中止日)	ペグインターフェロン アルファ-2b 7回目投与予定の定期外来日であったが, 数日前より咳が出るようになったとの訴えあり。胸写と, 胸部CTにて, 両肺野にスリガラス状網状影を認めた。 KL-6も1,444 (U/mL) と上昇しており, 間質性肺炎と診断した。 同日, 呼吸器科を受診。本剤, リバビリン, ペグインターフェロン アルファ-2bを中止し, 経過観察の方針となった。 【臨床症状】咳: 有, 痰: 無, 発熱: 無, 呼吸困難: 無, リンパ節腫脹: 一, 副雑音 (捻髪音, 湿性ラ音等): 捻髪音, 脱水: 無, 意識障害の有無: 無。
				中止14日後	画像的に (胸写) 変化なく, 経過観察を続ける。
				中止77日後	【胸部X線所見】陰影: 異常あり, 部位: 両側下肺野, 種類: スリガラス陰影 (びまん性), 陰影の拡がり: 陰影の拡がりが1側肺に占める割合は1/3まで。 【臨床症状】咳: 有, 痰: 無, 発熱: 無, 呼吸困難: 無, リンパ節腫脹: 一, 副雑音 (捻髪音, 湿性ラ音等): 捻髪音, 脱水: 無, 意識障害の有無: 無。
				中止196日後	【胸部X線所見】中止77日後と比べ, 軽度の改善あり。 【臨床症状】無。
中止301日後	【胸部X線所見】中止196日後と変わりなし。 【臨床症状】無。 間質性肺炎は軽快。				
臨床検査値					
		投与43日目 (副作用発現時)	中止14日後	中止77日後	
KL-6 (U/mL)		1,444	1,501	1,228	
併用薬: ペグインターフェロン アルファ-2b (併用被疑薬), リバビリン, アロプリノール, ゾルピデム酒石酸塩					

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
4	女 60代	C型慢性肝炎 におけるウイルス血症の改善 (狭心症) (高血圧) (不眠症) (頭蓋内動脈瘤) (末梢動脈閉塞性疾患) (胃炎) (胃食道逆流性疾患)	1,500mg 18日間	皮疹, 腎不全, 血小板減少, 膀胱炎, 消化管出血, 全身倦怠感, ヘモグロビン減少	
				既往歴: うつ病。末梢動脈閉塞性疾患に対しクロピドグレル硫酸塩 1錠/日を服用中。	
				投与開始日	本剤 (1,500mg/日), リバビリン (400mg/日), ペグインターフェロン アルファ-2b (1.5µg/kg/週) 投与開始 (3剤併用療法)。
				投与4日目	皮疹 (グレード1) 出現。 【重症度】グレード1: 体表面積の50%以下 (限局性) 【そう痒感】無。
				投与5日目	クロベタゾールプロピオン酸エステル処方。食欲低下, 下痢。
				投与7日目	腎不全, 血小板減少発現。クレアチニン軽度上昇: 1.18 (mg/dL)。
				投与9日目	皮疹増大傾向あり。下痢も食欲低下も改善している。
				投与12日目	膀胱炎発現。頻尿あり。セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物処方。
				投与14日目	膀胱炎改善, 軽快。(膀胱炎と考えた)
				投与15日目	消化管出血, 全身倦怠感発現。クレアチニン軽度上昇1.50 (mg/dL)。 ペグインターフェロン アルファ-2b投与中止。 血小板減少軽快。
				投与16日目	クロピドグレル硫酸塩中止。
				投与17日目	胃カメラにて十二指腸から滲出に対しクリッピング。 クレアチニン軽度上昇1.56 (mg/dL)。
				投与18日目 (投与中止日)	本剤中止。
				中止1日後	リバビリン中止。 ヘモグロビン減少発現。
中止3日後	クレアチニン1.29 (mg/dL)。				
中止11日後	皮疹改善, 軽快。消化管出血, ヘモグロビン減少軽快。				
中止25日後	クレアチニン1.08 (mg/dL)。腎不全回復。全身倦怠感軽快。				

臨床検査値

	投与前日	投与7日目	投与15日目 (消化管出血発現日)	中止1日後	中止5日後	中止11日後 (消化管出血軽快日)
ヘモグロビン量 (g/dL)	11.8	11.8	10.6	—	9.3	9.3
白血球数 (/mm ³)	6,800	2,800	3,800	—	4,700	5,600
血小板数 (10 ⁴ /mm ³)	14.6	10.7	16.6	—	14.2	16.4
血清クレアチニン (mg/dL)	0.79	1.18	1.5	1.54	1.29	1.04
尿酸 (mg/dL)	6.5	—	—	—	9.8	7.3

	中止27日後	中止48日後	中止69日後	中止97日後	中止127日後	中止155日後
ヘモグロビン量 (g/dL)	9.3	9.8	9.6	9.1	11.2	12.1
白血球数 (/mm ³)	6,400	8,000	6,300	4,900	9,300	4,200
血小板数 (10 ⁴ /mm ³)	16.1	16.2	15.7	13.5	17.9	14.6
血清クレアチニン (mg/dL)	1.08	1.05	0.92	1.07	1.14	1.00
BUN (mg/dL)	—	22	15	—	—	—
尿酸 (mg/dL)	6.3	6.5	6.2	5.9	6.7	7.2

併用薬: クロピドグレル硫酸塩 (併用被疑薬), リバビリン (併用被疑薬), ペグインターフェロン アルファ-2b (併用被疑薬), ランソプラゾール, アムロジピンベシル酸塩, オルメサルタン メドキシミル, ロスバスタチンカルシウム, テブレノン, ニコランジル, レバミピド, トラゾドン塩酸塩, エチゾラム, ゾルピデム酒石酸塩, セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
5	男 60代	C型慢性肝炎 におけるウイルス血症の改善 (高血圧症)	2,250mg 22日間 ↓ 1,500mg 14日間	血清クレアチニン値上昇, 高尿酸血症, 食欲不振, 嘔気, 皮疹, うつ症状, 白血球減少, 貧血 (ヘモグロビン減少), 十二指腸潰瘍 インターフェロン+リバビリンの前治療歴あり。
			投与開始日	本剤 (2,250mg/日), リバビリン (800mg/日), ペグインターフェロン アルファ-2b (1.5µg/kg/週) 投与開始 (3剤併用療法)。
			投与4日目	尿酸値上昇, 血清クレアチニン値上昇, 高尿酸血症, 食欲不振, 嘔気発現。 クレアチニン値2.94 (mg/dL) 上昇。補液の処置。 尿酸値14.7 (mg/dL)。アロプリノール100mg (200mg/日) の処置。 モサプリドクエン酸塩水和物5mg (15mg/日) 経口投与。
			投与6日目	スルピリド50mg (100mg/日, ~投与28日目) 経口投与。
			投与8日目	皮疹 (グレード1) 発現。 【重症度】グレード1: 体表面積の50%以下 (限局性) 【そう痒感】有 六君子湯 (6g/日, ~投与27日目) 経口, クロベタゾールプロピオン酸エステルクリーム0.05% (頓用) 外用投与。
			投与12日目	食欲不振, 嘔気は内服にて軽快した。
			投与14日目	クレアチニン値2.44 (mg/dL)。 尿酸値9.0 (mg/dL)。
			投与15日目	皮疹軽快。
			投与23日目	高尿酸血症軽快。本剤 (1,500mg/日) 投与変更。ゾルピデム酒石酸塩 (10mg/日) 経口投与。
			投与26日目	うつ症状発現。 エチゾラム (2mg/日, ~投与36日目) 経口投与。
			投与30日目	Hb値8.1 (g/dL)。クレアチニン値1.52 (mg/dL)。 リバビリン (400mg/日) 投与変更。 白血球数3,500 (/mm ³) に低下。その後も2,500 ~ 4,000 (/mm ³) 弱で推移。 とくに処置せず。
			投与36日目 (投与中止日)	本剤, リバビリン投与中止。
			中止1日後	貧血 (ヘモグロビン減少)。 外来で貧血の進行あり。又, うつ症状が強くなり本剤中止した。うつ症状に対しSSRIなどを開始し, 少しずつ自覚症状は改善している。 十二指腸潰瘍で入院。クレアチニン値1.44 (mg/dL)。Hb値5.0 (g/dL)。輸血対処。
			中止5日後	パロキセチン塩酸塩水和物 (10mg/日), アルプラゾラム (1.2mg/日) 経口投与。
			中止10日後	クレアチニン値上昇未回復。リバビリン400mgを再開。
			中止11日後	うつ症状が再燃。リバビリン投与中止。パロキセチン塩酸塩水和物 (20mg/日) へ増量。
			中止12日後	Hb値11.1 (g/dL)。 強いうつ症状発現したためパロキセチン塩酸塩水和物投与。 クレアチニン値1.25 (mg/dL)。
			中止15日後	クレアチニン値1.02 (mg/dL) に改善。
			中止17日後	エチゾラム (1mg/日) 経口投与。
			中止20日後	クレアチニン値1.02 (mg/dL)。十二指腸潰瘍未回復。
中止29日後	貧血 (ヘモグロビン減少) 軽快。Hb: 9.6 (g/dL) まで改善。			
中止32日後	うつ症状未回復。パロキセチン塩酸塩水和物 (40mg/日) へ増量。			
中止34日後	リバビリン (400mg/日) 投与再開。			

中止47日後	上部消化管内視鏡検査 (GIF) で十二指腸潰瘍はS1 stage (赤色瘢痕 ステージ) に改善し, 十二指腸潰瘍は回復。(以降, 再発なし。)
中止50日後	リバビリン (200mg/日) 投与変更。
中止91日後	リバビリン (300mg/日) 投与変更。
中止98日後	リバビリン (400mg/日) 投与変更。うつ症状軽快。
中止112日後	リバビリン (600mg/日) 投与変更。
中止189日後	白血球数減少未回復。
中止291日後	白血球数1,700/mm ³ , いまだ回復せず。
中止357日後	白血球数4,500/mm ³ に回復。(白血球減少回復)

臨床検査値

	投与前日	投与4日目	投与6日目	投与8日目	投与14日目	投与15日目	投与23日目	投与30日目 (白血球減少発現日)	中止1日後 (十二指腸潰瘍発現日)	中止3日後	中止5日後
ヘモグロビン量 (g/dL)	12.9	—	10.5	—	9.4	—	10.3	8.1	5.0	8.4	11.7
白血球数 (/mm ³)	5,000	—	4,000	—	4,500	—	4,500	3,500	3,800	—	—
好中球 (%)	64.9	—	48	—	61.2	—	66.8	68.5	70.2	—	—
血小板数 (10 ⁴ /mm ³)	28.8	—	18.2	—	15.9	—	24.3	21.1	24.5	—	—
血清クレアチニン (mg/dL)	0.89	2.94	2.45	2.22	2.44	2.46	1.63	1.52	1.44	1.16	—
BUN (mg/dL)	27.2	52.5	—	26.9	—	23.1	—	16.7	—	18.3	—
尿酸 (mg/dL)	8.8	14.7	13.3	11.5	9.0	8.9	5.1	5.8	5.1	4.3	—

	中止8日後	中止15日後	中止22日後	中止29日後	中止36日後	中止43日後	中止50日後	中止77日後	中止105日後	中止168日後	中止357日後 (白血球減少回復日)
ヘモグロビン量 (g/dL)	11.1	10.2	9.5	9.6	9.2	8.9	8.2	9.0	10.6	11.3	10.5
白血球数 (/mm ³)	3,400	4,400	2,900	3,400	2,900	3,100	3,400	2,600	2,500	2,600	4,500
好中球 (%)	53.1	58.9	55.6	58.8	55.0	57.3	62.3	—	—	—	—
血小板数 (10 ⁴ /mm ³)	15.4	16.8	18.0	17.7	15.9	16.0	16.9	16.8	19.1	22.2	27.2
血清クレアチニン (mg/dL)	1.25	1.02	0.96	1.00	0.92	1.00	0.94	0.93	0.97	0.78	0.82
尿酸 (mg/dL)	3.9	3.5	3.3	3.7	4.0	4.3	3.9	5.2	6.3	5.1	6.6

併用薬: リバビリン (併用被疑薬), ペグインターフェロン アルファ-2b (併用被疑薬), 酸化マグネシウム, ゾルピデム酒石酸塩, エチゾラム, モサプリドクエン酸塩水和物, アルプラゾラム, アロプリノール, ラベプラゾールナトリウム, エカベトナトリウム水和物, パロキセチン塩酸塩水和物

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
6	男 60代	C型慢性肝炎 におけるウイルス血症の改善	1,500mg 7日間 ↓ (中止) ↓ 750mg 85日間	腹水, 胃潰瘍	
				インターフェロン+リバビリンの前治療歴あり。	
				投与開始日	本剤 (1,500mg/日), リバビリン (400mg/日), ペグインターフェロン アルファ-2b (1.5µg/kg/週) 投与開始 (3剤併用療法)。
				投与7日目 (投与中止日)	本剤及びリバビリン投与中止。
				中止1日後	食欲不振と軽度T-Bill (6.8mg/dL) 等上昇。エコーにて腹水あり。 胃カメラにて胃潰瘍確認。 スピロラクトン錠 (25mg/日, ~中止3日後), フロセミド錠 (40mg/日, ~中止3日後), ラベプラゾールナトリウム錠 (2錠/日, ~継続) 経口投与。 ペグインターフェロン アルファ-2b投与中止。
				中止3日後	腹水軽快。やや食欲戻る。
				中止20日後	胃潰瘍軽快。
				中止21日後 (再投与日)	本剤 (750mg/日), リバビリン (200mg/日), ペグインターフェロン アルファ-2b (1.5µg/kg/週) 投与再開。
			再投与85日目	本剤投与終了。	
併用薬: リバビリン, ペグインターフェロン アルファ-2b					

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
7	女 60代	C型慢性肝炎 におけるウイルス血症の改善	2,250mg 45日間 ↓ (中止) ↓	高尿酸血症, 発疹, ヘモグロビン減少, 胃潰瘍	
			750mg 21日間 ↓	投与開始日	本剤 (2,250mg/日), リバビリン (600mg/日), ペグインターフェロン アルファ-2b (1.5µg/kg/週) 投与開始 (3剤併用療法)。
			1000mg 7日間 ↓	投与8日目	尿酸: 9.7 (mg/dL) と高尿酸血症が出現。
			1,250mg 36日間 ↓ (中止) ↓	投与12日目	両側上肢に発疹が出現。 【重症度】グレード2: 体表面積の50%以下 (多発性/びまん性) 【そう痒感】有 フェキソフェナジン塩酸塩120mg (~投与再々開42日目) 内服開始。
			750mg 7日間 ↓	投与15日目	ヘモグロビン11.8 (g/dL) とヘモグロビン減少あり。リバビリン600mg/日から200mg/日に減量。
			1,000mg 35日間	投与28日目	両側上下肢, 胸部, 腹部, 背部に発疹が拡大。プレドニゾロン (30mg/日, ~投与再開16日目) 内服開始。
				投与42日目	発疹, ヘモグロビン減少, 高尿酸血症は未回復。
				投与45日目 (投与中止日)	発疹治療のため本剤投与中止。
				中止19日後 (再投与開始日)	発疹軽快。本剤 (750mg/日) 投与再開。
				再投与8日目	発疹回復。
				再投与16日目	プレドニゾロン内服を終了。
				再投与22日目	高尿酸血症は未回復。 ヘモグロビン10.7 (g/dL) とヘモグロビン減少は未回復であった。 尿酸7.8 (mg/dL) も未回復であった。 本剤 (1,000mg/日), リバビリン (400mg/日) 投与変更。
				再投与29日目	本剤 (1,250mg/日) 投与変更。
				再投与64日目 (再投与中止)	ヘモグロビン7.9 (g/dL) と減少したため, 3剤を全て中止。
				再投与中止 13日後	貧血のため胃カメラ検査を実施したところ, 胃潰瘍を認め, ラベプラゾールナトリウム20mg (~投与再々開42日目) 内服を開始した。
				再投与中止 (再々投与開始日)	ヘモグロビン10.7 (g/dL) と改善したため, 3剤投与【本剤 (750mg/日), リバビリン (200mg/日), ペグインターフェロン アルファ-2b (1.5µg/kg/週)】を再開。
				再々投与8日目	本剤 (1,000mg/日) 投与変更。
	再々投与42日目 (投与終了日)	3剤療法24週間投与が終了した。			
	投与終了1日後	胃潰瘍軽快。ヘモグロビン減少は未回復。 尿酸5.2 (mg/dL) と高尿酸血症も回復した。			

臨床検査値

	投与前日	投与8日目	投与15日目	投与22日目	投与29日目	投与36日目	投与43日目	中止5日後
ヘモグロビン量 (g/dL)	13.3	13.5	11.8	10.3	9.6	9.8	10.6	10.0
尿酸 (mg/dL)	6.1	9.7	9.0	9.9	11.3	9.9	9.8	—
	中止12日後	中止19日後 (再投与開始日)	再投与8日目	再投与15日目	再投与22日目	再投与50日目	再々投与12日目	投与終了1日後
ヘモグロビン量 (g/dL)	10.3	10.4	10.4	11.0	10.7	10.9	10.9	9.6
尿酸 (mg/dL)	5.4	—	7.4	7.0	8.2	8.8	7.5	5.2

併用薬: リバビリン (併用被疑薬), ペグインターフェロン アルファ-2b (併用被疑薬)